

活動名	龍野北高校・日高高校看護科交流事業	報告者	看護専攻科
日時	7月24日(火) 9:30~15:00		
場所	但馬長寿の郷		
参加人数(所属)	生徒37名(看護専攻科)、教員2名		
目的	理学療法士・作業療法士が実践活動を通して蓄えた知識をもとに、在宅ケアの基礎知識を学ぶ。 日高高校と本校の学生間の親睦を図り理解を深め、学校生活の意欲向上につなげる		

まず、作業療法士、理学療法士から在宅看護に関する専門的な知識を学びました。この施設ではさまざまな福祉用具や社会資源の活用方法の説明を受け、利用者が望まれる生活を支援するためにはどのように役割を果たせばよいのかを考える機会となりました。また、午後からは看護師として今日の学びを今後どのように活かせるのかについてカフリスを行い、福祉用具は人の生活を変えることを確認しました。

日高高校の学生たちとは高校1年生の時に、Web交流を行っていましたが、実際に会うことは初めてでした。最初は緊張し、グループワークもぎくしゃくしていましたが、徐々に会話も弾み、それぞれの学校生活や私的な事も話せるようになり、同じ目標を持つ者同士良い刺激をもらいました。約2年後の看護師国家試験には「両校の学生全員が合格できるように自分たちも頑張りたい」との感想も聞かれました。

